

(参考：既存添加物の安全性の見直し等)

既存添加物については、平成8年度厚生科学研究「既存天然添加物の安全性評価に関する調査研究」(主任研究者 林裕造)において、国際的な評価、欧米での許認可状況、安全性試験成績結果等から、既存添加物の基本的な安全性について検討を行った。その結果、既存添加物489品目のうち、139品目については、「その基本的な安全性を確認するために必要な資料の収集が未だできておらず、今後、安全性試験の実施を含め、その安全性について検討することが必要である」と報告されている。

これら139品目については、国内外の試験成績を収集し、その試験成績の評価を行うことにより、安全性の確認を順次進め、その結果について、公表を行っている。

また、平成15年の食品衛生法改正において、既存添加物のうち、①流通実態のない品目及び②安全性に問題があると認められる品目については、既存添加物名簿からの削除が可能とされた。

これを受けて、①に関して、平成17年2月に38品目、平成19年9月に32品目、平成23年5月に実質53品目を、②に関して、平成16年10月に1品目の計124品目を削除した。

表2. 既存添加物の安全性見直しの状況(平成26年4月23日現在)

既存添加物名簿収載数	365
1. 安全性評価済みの品目	249
平成8年度厚生科学研究	35
平成11年度既存添加物の安全性評価に関する調査研究	13
平成15年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	14
平成16年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	8
平成18年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	5
平成19年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	4
平成20年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	7
平成21年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	4
平成22年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	1
平成23年度既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究	1
今回報告分	3
国際的な評価が終了しているもの(JECFA、FDA等)	154
2. 安全性情報を収集している品目	7
3. 基原、製法、本質等からみて安全と考えられ、早急に検討を行う必要はない品目	109

  

既存添加物名簿から削除された品目数	124
流通実態が無く削除された品目	123
安全性に問題があるとされ削除された品目	1